

福島市保健所 感染症だより



R7年3月1日～3月7日は子ども予防接種週間です

子ども予防接種週間は、保護者を始めとした地域住民の予防接種に対する関心を高め、予防接種率の向上を図ろうとするものです。

特に、4月に入園・入学されるお子さんの保護者のかたは、**接種していない予防接種がないか母子手帳で確認**しましょう。(予防接種を受ける際には、母子手帳を忘れずにお持ちください。)



←【福島市 HP】
定期予防接種を受けましょう



麻疹風しん 2期
R7.3.31 終了



日本医師会より
令和6年度子ども予防接種週間ポスター

小学校入学前年度のお子さんの保護者の皆さんへ

麻疹は**非常に感染力が強く**、免疫を持っていない人が感染すると**ほぼ100%発症**すると言われています。予防接種が**唯一有効な予防方法**です。予防接種で確実な免疫を得るためには、**2回接種**がのぞましいとされています。接種期間内であれば**無料**で接種できます。接種期間を過ぎると**全額自己負担(約1万円/回)**になります。

●対象者

小学校入学前の1年間で**5歳から7歳未満**(いわゆる年長児)

2018年(平成30年)4月2日～2019年(平成31年)4月1日生まれ



【令和7年3月終了】風しん追加的対策(抗体検査・予防接種)

風しんの感染拡大を防ぐため、これまで風しんの予防接種を受ける機会のなかったかたを対象に、抗体検査と予防接種を実施していましたが、**令和7年3月31日**で助成が終了となります。(クーポン発行まで**1週間から10日**程度かかります。)

期限を過ぎると**全額自己負担**になります。



【福島市 HP】
風しん追加的対策事業のお知らせ

●対象者

1962年(昭和37年)4月2日～1979年(昭和54年)4月1日生まれの男性



●風しんとは

感染者の唾液等によって感染する**感染力が強い**感染症です。**成人がかかると症状が重くなる**ことがあります。また、**妊娠初期の妊婦さんに感染すると、生まれてくる赤ちゃんの目や耳、心臓に障がい**が起きることがあります。予防には**ワクチン接種が有効**です。

HPV(子宮頸がん予防)ワクチンはお済みですか？

子宮頸がんの発生には、HPV(ヒトパピローマウイルス)が関わっています。このウイルスは、性的経験のある女性であれば50%以上が生涯で一度は感染するとされている一般的なウイルスです。ワクチン接種をすることで、HPVの感染を予防することができます。

通常の定期接種対象年齢を過ぎた場合にキャッチアップ接種として無料で接種できるのは令和7年3月31日まででしたが、条件付きで無料の接種期間を令和7年度まで延長できることとなりました。

まだ1回も接種していないかたも、**今年度中に1回でも接種すれば、令和7年度に限り、残りの接種も無料で受けられます。**



●延長対象者

- 1.キャッチアップ接種対象者(平成9年4月2日から平成20年4月1日までに生まれた女子)のうち、令和4年4月1日～令和7年3月31日までにHPVワクチンを**1回以上接種**したかた
- 2.平成20年4月2日から平成21年4月1日までに生まれた女子(現在高校1年生相当)で、令和4年4月1日～令和7年3月31日までにHPVワクチンを**1回以上接種**したかた

●上記対象者が引き続き無料で接種できる期間

令和8年3月31日まで



【福島市 HP】
定期予防接種 HPV(子宮頸がん予防)
ワクチンについて



【厚生労働省】
HPV ワクチンに関する Q&A



※**接種後に症状が生じた場合は、まずは接種医もしくはかかりつけ医など身近な医療機関を受診してください**

発行日：令和7年2月28日 発行：福島市保健所 感染症・疾病対策課
住所：〒960-8002 福島県福島市森合町10-1
電話番号：感染症対策係 024-572-3152
 予防接種係 024-597-6203